

基本目標 2 外国人市民が生活しやすい環境づくり

No.	取り組み	内容	2022（令和4）年度実績	分類	評価	分類や評価の理由	取り組み主体
2 - 1 防災・災害時対応							
30	災害時多言語支援センターの設置	災害時に外国人市民への支援拠点としての役割を果たせるよう、災害時多言語支援センターの設置・運営訓練を行います。また、大阪府や他の自治体とも協力体制をつくります。	災害時多言語支援センター設置・運営に向けた職員訓練を1回実施した。	②	A	災害時多言語支援センターの円滑な運営のため職員研修を行い、設置運営に関する課題点を共有し、対応策について協議を重ねることができた。	人権政策課 国際交流センター
31	災害時における支援者の育成	国際交流センターのネットワークを生かして、関係機関や市民と協力して、災害時に外国人市民の支援を行うことができる市民を育てます。	災害時ボランティア研修会	②	A	災害時に外国人住民が必要な情報について知り、また翻訳活動の演習を行い、ボランティアへの参加と運営時の活動意識の向上に努めた。	人権政策課 国際交流センター
32	外国人市民に配慮した避難所の整備	日本語の理解が難しい外国人市民でも安心して避難所で生活することができるよう、多言語での表示等を進めます。	・避難所に必要な多言語表示について、他団体の資料等を含め、必要な資料等の情報収集を行った。 ・多言語表示シートの避難所配置に関して検討した。	①	A	多言語表記を行うことを目的としており、多文化共生推進に寄与している。 また、避難所での不安を軽減できるよう、また、孤立することや情報不足が生じないよう各避難所に表示シートを設置する準備を進めた。	危機管理課 人権政策課 国際交流センター
33	外国人市民のための防災訓練の実施	災害についての知識や災害時の対応や方法を学んでもらうため、外国人を対象にした防災訓練を行います。また、防災訓練の情報を外国人市民に伝え、参加してくれる外国人市民を増やします。	令和4年度の総合防災訓練は職員を対象に実施した。外国人市民に対しては、多言語情報誌等を通して、防災情報を伝えることができた。	①	C	外国人市民に対する防災訓練は実施することができなかったため。	危機管理課 人権政策課 国際交流センター
34	外国人市民に対する防災情報の提供	外国人市民向けに、災害時に困らないよう日々の生活の中で準備しておくことや災害時に確認すべき情報、避難場所の情報などを書いた冊子・マップをつくります。	・地域等で実施するイベント・講演・訓練等の配布物として提供 ・カウンター、市内の各出張所等で配架	①	A	多言語表記を行うことで、多文化共生推進に寄与している。	危機管理課
35	多言語による火災予防などの広報	火災予防の啓発と火災・救急などの通報要領及び救急応急処置について、多言語で記載したリーフレットを配布するほか、やさしい日本語でも啓発を行います。	・窓口で配架 ・防火展で配架 ・YouTube「八尾市公式チャンネル」を活用したやさしい日本語による火災指導	②	A	多言語対応のリーフレットを窓口に配架し、火災予防等の情報提供をすることができたため。QRコードを添付した配布物を作成するなど、幅広い情報発信に務めたため。	消防本部予防課
36	自動音声通訳機等を活用した多言語での救急対応	外国人傷病者観察票や自動音声通訳機等を活用して、多言語対応で傷病の状態を把握し、迅速な救急活動を行います。	外国人傷病者観察票を救急車に常備し、自動音声通訳機を1器導入している。また、救急車積載のスマートフォンに多言語通訳アプリ「救急ボイストラ」をインストールしている。ほかに、民間の3者間多言語コールセンターを利用し3者通話を使用している。近年、スマートフォンの普及により外国人傷病者においては個人のスマートフォンに翻訳アプリをインストールしている方が多いため、昨年に比べボイストラの使用実績は減少傾向にある。 救急ボイストラ：令和4年度使用実績1件 3者間多言語通訳：令和4年度使用実績2件	①	A	外国人傷病者搬送の際、本人及び付添人も日本語が通じない場合には、主訴の聴取等ができないが、自動音声通訳機及び外国人傷病者観察票、救急ボイストラと民間の3者間多言語コールセンターを利用した3者通話を使用したことにより、病院への搬送連絡時に必要な事項の聴取はできたため。また、外国人傷病者が所有しているスマートフォン通訳アプリも活用できスムーズな聴取が実施できていたため。	消防署救急課
37	3者間通話を活用した多言語での救急対応	外国人に対して3者間通話を活用して、多言語でのコミュニケーションを行い、迅速な救急活動を行います。	令和4年度実績 件数 2件	①	A	多言語における通報に対し多言語通訳を使用することによって迅速な対応ができた。	消防本部指令課

No.	取り組み	内容	2022（令和4）年度実績	分類	評価	分類や評価の理由	取り組み主体
2-2 子育て・教育に関する支援							
38	「子育ておうえんBOOK」を使った子育てに関する多言語での情報提供	中国語、ベトナム語の「子育ておうえんBOOK（概要版）」（妊婦・出産から就学児を持つ家庭への情報誌）を配布し、子育て支援の情報を提供します。	発行部数 中国語：500部 ベトナム語：500部	①	A	年度ごとに見直しを行い、子育て世帯に必要な情報の提供を行うことができた。	こども総合支援課
39	保育利用に関する多言語での情報提供	中国語、ベトナム語の「保育利用あんない」を使って、保育を希望する外国人の相談支援や手続きの案内をします。	・中国語版 50部発行20部配布 ・ベトナム語 50部発行20部配布	①	A	年度ごとに内容の更新を行い、適切な情報提供につながっていると考えられる。	保育・こども園課
40	こども園での外国語通訳の活用	児童及び保護者の日常保育対応等において意思の疎通を図るために通訳を公立こども園2園で配置しています。他園で新たに通訳ニーズが発生した場合は、必要に応じて通訳派遣を行います。	・中国語通訳者（西郡そよかぜこども園）とベトナム語通訳者（安中ひかりこども園）を配置。学校・コミセン等にも必要に応じて派遣し、保護者対応や文書翻訳を行う。	①	A	児童及び保護者と意思疎通が図られ、安心して園生活を送るための一助となっているため。	こども施設運営課
41	こども園での対話支援カードの活用	5か国語（英語・韓国語・中国語・ベトナム語・ポルトガル語）の対話カードを使って、外国語を話す保護者と職員とのコミュニケーションを助けます。	5か国語（英語・韓国語・中国語・ベトナム語・ポルトガル語）の対話支援カードを活用	①	A	多国籍に対応でき、保護者とコミュニケーションをとりながら、園生活への理解を深めることができています。	こども施設運営課
42	「小学校入学までの子育てチャート」リーフレットを使った子育て支援	ベトナム語、中国語、英語の「小学校入学までの子育てチャート」リーフレットを使って、必要な手続きやこども園の申し込み等を伝えます。	子育て関係課窓口や外国人相談窓口、市立病院、つどいの広場等を通じてリーフレットを配付した。	①	A	必要としている人に、こども園の申し込み、健診など子育て支援に関する情報を届けることができたため。	人権政策課
43	就学前の子ども・保護者向けプレスクールの実施	小学校入学前の子どもたちやその保護者が日本の小学校生活の不安を軽減し、楽しい学校生活を送ることができるよう、プレスクールを実施します。	外国にルーツをもつ親子のための小学校入学前の体験会&説明会	①	A	日本の小学校生活に戸惑い困ることがないように、保護者や子どもの就学前の不安などを軽減することができた。	国際交流センター
44	帰国・外国人児童生徒などの受け入れ支援	帰国・外国人児童生徒などの日本語の習得や学習の補助、学校生活になじむために通訳を派遣します。	のべ67名の講師を28小中学校に年間13,721時間派遣した。	②	A	帰国・外国人児童生徒などの日本語指導や学習支援、学校生活への適応を図ることができたため。	人権教育課
45	教員の加配制度を活用した日本語指導	日本語指導加配教員の巡回指導により、帰国・外国人児童生徒の学校生活を支援します。また、外国人の増加、国籍の多様化、散住化に対応するための体制の充実を図ります。	帰国・外国人児童生徒や日本語指導が必要な児童生徒の支援のため、特別に教員を加配する制度の活用を図った。（事業費は国負担） 小学校：6校12名 中学校：4校6名	②	A	帰国・外国人児童生徒の学校生活への円滑な適応を推進するため、教員の加配制度を活用して日本語指導や適応指導の体制の充実を図ることができたため。	人権教育課
46	多言語による就学援助の案内	就学援助制度のお知らせを多言語（中国語・ベトナム語・英語）でつくり、就学援助を希望する保護者が申請できるよう支援します。	中国語・ベトナム語・英語の翻訳文を庁内ネットワークで見ることのできる掲示板に掲載するなど各学校と連携し、適宜配付・活用を行った。	②	A	各学校において、就学援助制度のお知らせ文の翻訳文を活用することにより、制度の周知を進めることができたため。	学務給食課
47	多言語による事業案内	国際理解教育事業に参加する子どもや保護者向けに多言語（ベトナム語・中国語等）で案内をつくり、情報提供を行います。	多文化キッズサークルの募集等多言語（ベトナム語・中国語等）で案内をつくり、情報提供を行った。	②	A	国際理解教育事業に参加する子どもや保護者向けに多言語（ベトナム語・中国語等）で案内をつくり、情報提供を行った。	生涯学習課
48	多言語による学校連絡文書の作成	帰国及び外国人児童・生徒の保護者向けに、必要に応じて多言語による連絡文書の作成を行います。	学校からの配付文書の翻訳を実施した。（主な言語：中国語・ベトナム語・英語）	②	A	外国人児童生徒の保護者向けに、多言語による連絡文書を作成することができたため。	人権教育課

No.	取り組み	内容	2022（令和4）年度実績	分類	評価	分類や評価の理由	取り組み主体
49	多言語での学校における健康診断関係書類の作成	学校における健康診断の問診票など、児童・生徒の健康に関わるお知らせを多言語（中国語・ベトナム語・英語）でつくり、保護者に適切な情報提供を行います。	問診票やお知らせ等の中国語・ベトナム語・英語の翻訳文を、庁内ネットワークで見ることのできる掲示板に掲載し、各学校で必要に応じて印刷し、配付と活用を行った。	②	A	各学校において、翻訳文のお知らせや通知等を活用することで、健康診断に係る業務を順調に進めることができた。	学務給食課
50	多言語による低学年育成事業の案内	低学年育成教室（パレットクラブ）に参加する児童の保護者向けに、やさしい日本語やベトナム語等で情報を届けます。	行事案内文等でやさしい日本語やベトナム語翻訳で情報を届けた。	①	A	外国ルーツの保護者に事業の活動内容がわかるように努めることが、児童の活動参加につながっているため。	安中青少年会館
51	外国にルーツを持つ生徒と保護者に対する進路指導	関係機関や団体と連携しながら、「多言語進路ガイダンス」などを行い、生徒とその保護者に対して、適切な情報提供を行います。	・帰国・渡日児童生徒学校生活サポート事業「多言語進路ガイダンス」を実施した。 ・進路担当者会における情報提供を行った。	②	A	関係機関や団体とも連携しながら、生徒とその保護者を対象に多言語による進路ガイダンスを実施することができたため。また、生徒はロールモデルとの出会いを通して自分の将来を見据えることができたと同時に、保護者は日本の高校入試制度についてイメージを持ち、悩み等を相談することができたため。	学校教育推進課 人権教育課
52	多文化共生を進めるための学校への後方支援	八尾市在日外国人教育研究会などと連携し、教職員への多文化共生についての知識や日本語指導学習の研修会等、質の高い教育を行うために支援します。	・講演会 ・教育講座(年間5回) ・日本語指導学習会 ・オリニマダン ・多言語進路ガイダンス（生徒対象、保護者対象各1回） ・進路開拓会議 ・ワリカラゲモイム	②	A	八尾市在日外国人教育研究会等への支援・連携により、多文化共生教育や日本語指導に関する知識や取組みを深化・充実させるための研究・実践を行ったため。	人権教育課
53	外国にルーツを持つ子どもの居場所づくり	外国にルーツを持つ子どもたちの学校生活などでの不安を少なくするため、学校の宿題などの学習支援や参加者が交流できる居場所をつくりまします。また、支援ボランティアの研修を行います。	外国にルーツを持つ子どもたちが、学校の宿題などの学習支援や同じ教室に集う仲間との交流により、居場所づくりの機能を果たすことができた。	②	A	外国にルーツを持つ子どもたちが、学習を通じて仲間とふれあい、交流できる居場所づくりを進めた。	生涯学習課
			・学習支援&居場所づくり(SALA) 23組参加（1週間）*延べ683人参加 ・こども交流会 ・ボランティア研修会	①	A	子どもたちの学習支援、またボランティアや子ども同士の交流の場を提供できた。	国際交流センター

No.	取り組み	内容	2022（令和4）年度実績	分類	評価	分類や評価の理由	取り組み主体
54	外国にルーツを持つ児童生徒へのアイデンティティ確立支援	外国にルーツを持つ児童生徒が自分のルーツに誇りを持てるよう、民族クラブの支援や学校への国際理解教育プログラムの紹介や研修を行います。	・人権教育研修講座（年間6回）において在日外国人教育に関する研修を実施した。 【テーマ】「外国にルーツのある子どもの現状と課題 ～支援現場から見たこと～」 ・民族クラブへの講師派遣を行った（年間約360時間）。 ・民族クラブへの備品・消耗品の購入を行った（16校26クラブ）。	②	A	外国にルーツのある児童生徒のアイデンティティの保持増進に向けて、民族クラブへの支援を行うとともに、学校への国際理解教育プログラムの紹介や研修を実施することができたため。	人権教育課
			小学校8校8クラブ、中学校3校3クラブの活動プログラムの立案や指導などのサポート業務を実施した。	②	B	民族的アイデンティティの確立支援や相互理解を促進する取り組みを進めた。	生涯学習課
55	外国にルーツを持つ子どもたちに対するいじめへの相談対応	外国にルーツを持つ児童生徒の相談時に、必要に応じて通訳者を派遣するなど、相談しやすい体制をつくります。また、多言語による相談窓口の周知も行います。	児童・生徒が気軽に相談できる方法の1つとして「やおっこ手紙相談」を実施しているが、教育委員会や各学校の協力のもと、説明文等の翻訳版（英語、中国語、ベトナム語）を作成し、各学校に送付した。	②	A	保護者宛ての説明文や、児童・生徒向けのお知らせ等の翻訳版を作成することにより、外国人を含む市民に当該事業の理解を促すことができたため。	いじめから子どもを守る課
			相談時に必要に応じて通訳を派遣した。	②	A	相談時に必要に応じて通訳を派遣し、相談しやすい体制づくりを進めることができたため。	人権教育課
56	国際理解教育の推進	外国にルーツを持つ子どもたちを主な対象に、国際理解教育事業を実施するとともに、市内の外国人どうし及び日本人との相互理解を深めるための交流事業を行います。	・多文化理解講座事業 93回 821名 ・異文化ルーツ子ども育成事業 169回 3,312名 ・学校教育サポート事業 317回 4,909名	②	A	外国にルーツを持つ子どもの自尊感情を育む取り組みや在日外国人と日本人との交流促進を通じ、国際理解の促進を図ることができた。	生涯学習課
57	異文化・多文化理解のための子ども向けプログラムの開発と講座	多文化共生を担う次世代を育てるため、異文化・多文化を理解するためのプログラムを開発し、学校などで講座を行います。	・小・中学校等訪問 訪問校数 26校 実施回数 44回	②	A	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からコミュニティセンター等他施設への訪問講座は実施できなかったが、小・中学校等へ訪問し、異文化・多文化への理解を深めることができた。	生涯学習課
58	外国語教育の推進	小、中学校、特別支援学校において、国際社会を生きる基礎となる外国語教育・コミュニケーション教育を進めます。	小・中学校、及び義務教育学校において、国際社会を生きる基礎となる外国語活動を推進した。	②	A	市内全小・中学校、及び義務教育学校に英語指導助手（NET）を派遣することで、中学校での英語教育ならびに小学校での英語活動を充実できたため。また、NETと直接触れ合うことによって、国際理解教育の推進につながっているため。	学校教育推進課
59	多文化を知るための青少年育成プログラム	国際感覚豊かな人材を育てるため、また自分のルーツに誇りを持てるよう、多文化意識を育むプログラムを行います。	第13回YIC多言語スピーチコンテスト	②	A	自分の想いをスピーチすることで、自分の想いと向き合い、また、自分のルーツについて考えるきっかけを作り、同年代の児童・生徒の意見を聴くことを通じて視野を広げる取り組みとなった。	国際交流センター

No.	取り組み	内容	2022（令和4）年度実績	分類	評価	分類や評価の理由	取り組み主体
60	八尾中学校（夜間学級）での受け入れ	様々な事情から義務教育を修了しないまま学齢期を過ぎた外国人に対して、八尾中学校（夜間学級）で受け入れて、勉強できる機会を与えます。	58名の外国籍生徒が八尾中学校夜間学級で学ぶことができた。通訳を交えた進路相談を行い、進学希望者への補習を日々の課業前や長期休業中に行うことにより、生徒の不安や心配事を取り除き、登校しやすい環境づくりができた。	②	A	外国籍の方のみが対象ではなく、様々な事情から義務教育を修了しないまま学齢期を過ぎた方々を対象としている。外国籍生徒に対し、学校や日本での生活におけるアドバイスや進路指導等の支援を行うことができています。	学校教育推進課
2-3 保健・医療・福祉に関する支援							
61	医療機関におけるコミュニケーション支援	外国人市民が安心して医療を受けることができるように、外国人相談事業の中で、医療関係者と外国人患者のコミュニケーションを支援します。	令和4年度、八尾市外国人相談窓口に全体で2,280件の相談があり、そのうち1,285件が医療に関わる相談であった。	①	A	保健・医療に関する相談は外国人相談の中で最もニーズが高く、市民生活への貢献度が高いため。	人権政策課
62	多言語対応できる病院・薬局についての情報提供	外国人市民が医療を受けやすい環境をつくるために、多言語対応ができる病院や薬局の情報発信を行います。	市立病院やワクチン接種できる病院の情報等をやさしい日本語で発信することができた。	①	B	コロナ関連以外の医療情報を発信していくことができなかったため。	人権政策課
63	市立病院での多言語対応	外部機関が提供する医療通訳サービスなどを活用し、多言語対応した診療を行います。	大阪府の提供する多言語遠隔医療通訳サービスやスマートフォンの通訳アプリを利用し、多言語対応が可能な体制を整えている。令和4年度においては、通訳サービスを利用した診療を実施した。	①	A	外国人の患者が安心して診療を受けることができる体制を整えているため。	市立病院企画運営課
64	多言語による母子健康手帳の交付	多言語による母子健康手帳をはじめ、健診関係書類、指導リーフレットなどを配布し、必要なサービスが受けられるように支援します。	母子健康手帳配布数（冊）：ベトナム語33、英語4、タイ語1、タガログ語1、ネパール語2、インドネシア語1	①	A	希望者に対して、外国語の母子手帳を渡し、丁寧に対応できたため。また、外国人相談員へ協力依頼を行い、妊婦の面接・訪問・電話対応を行った。	健康推進課
65	多言語による予防接種予診票等の提供	医療機関での予防接種に必要な予診票と説明書について、多言語版の資料を提供します。また、予防接種制度をお知らせする資料についても多言語版を提供します。	必要に応じ、ベトナム語版の予防接種説明資料を15部配布し、円滑に予防接種が受けられるように実施した。	②	A	外国人市民に対し、外国語版資料をもとに説明対応した。	健康推進課
66	中国語対応の肺がん検診	中国語のみ話すことが出来る方を含む市民を対象に、肺がん検診を実施します。また、中国語で受診を勧めたり、検診結果の相談等を行います。	中国語チラシを関係団体や地域回覧等で周知啓発	②	A	日本語での検診受診が難しい方にも受診していただけるよう、環境を整えることができたため。	健康推進課
67	多言語による八尾市健康まちづくり宣言策定書概要版の提供	みんなの健康をみんなで守る地域社会の実現に向けて、八尾市健康まちづくり宣言を知ってもらうため、多言語で策定書の概要版を提供します。	八尾市健康まちづくり宣言策定書概要版を英語、中国語、ベトナム語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語の5言語で普及啓発。	②	A	宣言を通じて、健康に関心を持ち、健康づくり（正しい食生活、運動・身体活動など）に取り組むことの大切さを普及啓発することにより、健康なまちづくりの推進につながっている。	保健企画課 健康まちづくり科学センター
68	コミュニケーションサポーターの派遣	外国人市民が適切な介護サービスが受けられるよう、コミュニケーションサポーターを派遣します。	介護認定調査7件（外国語1件、手話6件）	②	A	要介護認定調査時に通訳が必要な方を申請時に適切に把握し、必要とされる方へ通訳を派遣することで調査による申請者の状態を確認することに努めた。	高齢介護課
69	外国人市民高齢者への福祉サービスの充実	外国人市民高齢者に配慮した介護施設や住み慣れた地域における福祉サービスを充実させるため、研修などを行います。	八尾市事業者連絡協議会における人権研修の実施（3月開催）	③	B	介護従事者に対し高齢者虐待に関する研修を実施したことにより、広く人権意識の向上を図ることができた。	高齢介護課

No.	取り組み	内容	2022（令和4）年度実績	分類	評価	分類や評価の理由	取り組み主体
70	重度心身障がい者特別給付金の支給	国民年金法において、障害基礎年金等を受給できない外国籍の障がい者に対し、特別給付金を支給し、福祉向上を図ります。	・支給月額：20,000円 ・支給件数：2件	②	A	適切な確認、給付を行ったため。	障がい福祉課
2-4 就労・入居に関する支援							
71	働きたい外国人市民への就労支援	働く意欲のある外国人市民が、外国人雇用に理解のある事業者の情報を手に入れやすくなるよう、市や関係団体と連携し行います。	外国人住民のための『仕事を知る、会社と出会う』マッチング交流会	②	A	外国人雇用に関心を持つ企業と外国人住民が出会い、相互の理解を深める機会を設けることができた。	国際交流センター
72	地域就労支援事業の実施	働く意欲がありながら、さまざまな理由により就労が難しい人に対して、地域就労支援コーディネーターが就労の相談を受け付け、就労に向けた支援を行います。	相談件数：1,718件 外国人相談実人数：15人 外国人就労実人数：3人 (R4年度実績)	②	A	第3次八尾市地域就労支援基本計画において、外国人市民を就労困難者の属性の1つとして定めている。支援の実施により、就労に結びつけることができたため。	労働支援課
73	無料職業紹介事業の実施	就労相談等の支援を受けながら、就労することが難しい人に対して、市が職業紹介を行い、よりきめ細やかなマッチングを行います。	・会社説明会・就職面接会を開催した。 (R4年度実績 9回) ・就労困難者等に対する個別職業紹介を実施した。(R4年度実績28件)	②	B	就労困難者等を含む求職者の支援と、人材を求める市内事業者の支援につながったため。	労働支援課
74	パーソナル・サポート事業の実施	日本語による会話が困難な外国人市民に対して、日本語学習支援やコミュニケーション支援を行い、就労につなげます。	・パーソナルサポートを実施した。 ・社会的居場所事業（日本語学習を含む）を実施した。(R4年度実績21名) ・支援付き職業訓練を実施した。(R4年度実績8名)	②	A	就労困難者等に対して、寄り添い型の支援を実施できたため。	労働支援課
75	企業に対する人権・雇用に向けた啓発活動	企業に対して、外国人を含む人権や雇用について、研修や企業向け啓発冊子への掲載などを通して、外国人雇用に関する意識啓発を行います。	・関係機関より依頼のあったリーフレットの配架等により啓発を行った。 ・市内の会社に対し、多文化共生に関するセミナーの案内を行った。	②	A	外国人雇用に関するリーフレットの配架等を通じて周知を行い、外国人雇用についての事業所の理解を深ることができたため。	労働支援課
76	入居差別の解消	外国人に対する入居差別の解消に向けて、宅地建物取引業人権推進員制度の普及に取り組めます。	宅地建物取引業人権推進員制度の制度説明及び推進員養成講座開催（年6回）のチラシを配架するなど制度の普及に取り組んだ。	②	B	宅地建物取引業に従事する、すべての従事者を対象としており、人権問題に関する正しい知識の普及に寄与している制度となっている。	住宅政策課 人権政策課
77	大阪あんぜん・あんしん賃貸住宅登録制度の普及・促進	民間の賃貸住宅に入居を希望する外国人世帯などが入居しやすいよう、入居を受け入れる民間賃貸住宅や支援団体などの情報を周知します。	Osakaあんしん住まい推進協議会を通じて、外国人を含む住宅確保要配慮者に対する入居の支援に取り組んだ。 セーフティネット住宅登録件数：138件（八尾市内） 協力店数：12件（八尾市内）	②	B	Osakaあんしん住まい推進協議会における取組みを通じて、外国人を含む住宅確保要配慮者の居住の安定確保のための情報発信ができています。	住宅政策課
78	サービス付き高齢者向け住宅の閲覧・情報提供	日常生活に必要な福祉サービスを受けられる居住環境を備えた高齢者向けの賃貸住宅等の閲覧・情報提供を行います。	サービス付き高齢者向け住宅の啓発に取り組んだ。 登録物件数：48件（八尾市内）	②	B	サービス付き高齢者向け住宅の登録情報について、適宜内容の更新を行い、情報提供を行った。	住宅政策課
79	多言語での市営住宅入居者募集案内	外国人市民が市営住宅に入居申し込みができるよう、多言語による市営住宅の入居者募集案内の情報を発信します。	中国語、ベトナム語に翻訳した「公共の住宅案内」を作成し、必要に応じて配布を行った。	①	A	情報を必要としている人に案内することができた。	住宅管理課